

国内における拡販については、工業用塗料部門や自動車塗料部門と協働し営業提案を強めていくとともに、戸建てリフォーム需要にも焦点を合わせる。住宅塗装を中心とした塗装業者と関西ペイントがタッグを組んだ会員組織「リフォームサミット」の会員数は約800社店に及び、塗装技術の実習や専用商材の提供を通して、会員の提案力強化を推進している。

海外の需要に対しても、遮熱塗料の豊富なラインアップを強みに展開を強化する意向。「合弁会社への技術協力を通して、中国、香港、東南アジアなど遮熱需要が高いアジア市場に向けた販売を強化していく」と展望を述べた。

### 製品、ツールで 「安全・安心」提供 アトミクス

アトミクスは金属屋根用塗料「アクアルーフ」のリニューアルを実施。全工程水性仕様で高い防食性と遮熱性を実現した。また、ドローンによる屋根の調査・診断システム「アトムサーベイシステム(以下ASシステム)」の利用申し込みをスタート。製品、ツール面双方で同社のモットーである「安全・安心」を提供できる体制が整った。

今回リニューアルした「アクアルーフ」は水性1液タイプながら溶剤2液防錆プライマーと同等の防錆力を発揮する。仕上がりの膜厚は上塗りの「アクアルーフトップ」と合わせて一般的な屋根用塗料の約2倍となる250~300 $\mu$ mを実現。全工程を水性化することでVOCの低減に寄与し、臭気を気にする工場関係にも提案しやすい。また、2016年に同社が行った試験では夏期の電力量を10~15%削減、優れた遮熱性能を有する。また、化学物質により労働者に健康障害が生じるのを防ぐこと

を目的にした特定化学物質等障害予防規則の対象物質にも非該当。

本品と併せて、ASシステムを拡販ツールとして同社の屋根用塗料のシェアアップを図る。同システムはドローンで調査診断を行うことで、転落事故の防止や現場調査時の足場の組み立てコストを削減できるシステム。また、施工にとってはその場で画像を見ながら屋根の状況を確認できるメリットがあ

る。「診断した結果、工事発注にならなくても、施工が屋根の状況を確認できることで、次の調査時期や修繕のタイミングなどの情報を施工主と共有できるため、長期的な関係構築やコミュニケーションツールとしての役割にも期待している」(担当者)。

今後も「顧客の要望に沿った工法、製品の開発を行っていく」(担当者)と方針を示す。

## 靴の熱対策に塗料!? ガイナ仕様のサッカースパイク発売

遮熱機能の塗料が思いも寄らぬフィールドに広がっている。スポーツシューズへの展開だ。日進産業の断熱塗料「ガイナ」がこのほど、世界的なサッカーシューズのブランド「umbro」のスパイクに「熱対策」として採用されたことが話題を呼んでいる。

近年、各種スポーツの競技グラウンドは従来の土から人工芝に変わってきており、それとともに熱への対策が課題に上っている。夏場の昼間、人工芝の表面は80℃ほどの高温になることもあるといい、シューズの内部が高温化。「プレー終了後には低温やけどの状態になっていることも多く、足裏の皮のめくれや疲れが残りやすいなど熱に起因した問題が広がっていた」と説明。



こうした状況を受け、umbroのサッカースパイクを国内販売しているデザートジャパンがスパイクの断熱材としてのガイナに注目、日進産業と共同でインソールボード(中底)にガイナをコーティングしたサッカースパイクを開発することになった。

具体的には中底の裏(地面側)にガイナをコーティングして地面からの熱を遮断するというもので、日進産業ではつくば大学医学セクション監修のもと、高温の人工芝と同じ条件で実証実験をスタート。膜厚やセラミックの含有量、柔軟性など中底コーティング向けのベストな状態を探り、「地面からの熱の浸入を50%以上遮断する」というサッカースパイクの開発に成功した。

デザートジャパンでは昨年12月6日に正式発売したが、「スポーツ用品卸などへの事前案内により、発売前から注文が殺到。通常、新製品は7,000足売ればヒットと言われる中で、発売前の段階で1万2,000足の注文があり、発売後にも3,000足の追加オーダーがあったと聞いています」と日進産業も驚く売れ行き。今年4月からは「ガイナ仕様」



を全面に押し出したプロモーションビデオも全国のスポーツ用品店などで流されることから、更なる販売増への期待を高めている。

日進産業の石子達次郎社長は「ガイナは熱を遠赤外線に変換するというのが基本的なメカニズムで、そこから得られる効果が特長の商品です。このため、夏場の高温の遮断だけでなく、冬場には人体が持つ熱を遠赤外線に変えて靴の中を暖かくするので防寒靴などにも効果があります。今回のumbroシューズの事例をきっかけに、夏でも冬でも熱をコントロールする技術としてさまざまな靴への応用を進めていきたい」と意欲を示す。

なお、ガイナは今年1月、国際連合工業開発機関(UNIDO)の環境技術として登録された。発展途上国などの環境改善に有用と認められたもので、「海外展開への後押しになる」と期待を高める。

### 顧客志向、 シリーズ体系を刷新 大日本塗料

大日本塗料は昨年12月、遮熱塗料シリーズを「エコクールマイルド」から「エコクールスマイル」に名称変更し、オリジナルキャラクターの採用や専用容器を開発するなど、親しみやすいイメージにブランドの刷新を図った。